

2024 ルール変更概要

バスケットボール 3x3

変更元	変更後
古い書式	フッターの改訂日を2024年9月にすること
	<p>変更／追加：</p> <p>3.3.5 ヘッドカバー： ヘッドカバーは許可されているが、FIBAの規則に従う必要がある。</p> <p>3.3.6 医療用ヘッドカバーと同じ安全基準を満たすものでなければならない。ヘッドカバーは、装飾のない単色の無地でなければならない。</p> <p>3.3.7 ユニフォーム規定を守らない者は、試合への出場を認めない。</p>
3.5.2 規定プレー終了1分前まで、ランニングクロックが適用される。この間、すべてのデッドボールの状況（ファウル、反則、ファウル付きフィールドゴール、タイムアウトなど）において時計は止まる。ストップクロックが適用される。例：ファウル、反則、ファウル付きフィールドゴール、タイムアウト）	<p>変更：</p> <p>3.5.2 オールデッドボールの場合は（例、ファウル、反則、ファウル付きフィールドゴール、タイムアウト）時計を止め、ストップクロックが適用される。</p>
3.5.6 ボールの所有権を巡るコイントスで試合開始となる。コイントスで勝ったチームがボールの所有権を取るか、または延長戦に入った場合のためにここでは所有権を取らないかを決めることができる。ジャンプボールは行わない。ジャンプボール（ヘルドボール）時のボールの所有権は、コイントスで勝ったチームから始まり、その後は交互に移る。	<p>変更：</p> <p>3.5.6 ボールの所有権を巡るコイントスで試合開始となる。コイントスで勝ったチームがボールの所有権を取るか、または延長戦に入った場合のためにここでは所有権を取らないかを決めることができる。ジャンプボールは行わない。</p>
	<p>削除：</p> <p>3.6.2 シュートの動作中にファウルを受けてシュートが成功した場合、その得点は認められ、ファウルを受けたチームはボールの保持権を維持する。</p>

<p>3. 6. 6 ボールを奪ったディフェンス側が、ボールをアーケの外側に運ばずにシュートした場合はヴァイオレーションとなる。ボールを奪ったディフェンス側が、アーケの外側にそのボールを運ばずにシュートした場合は、デッドボールとしてボールの所有権はオフェンス側に戻り、アーケ外側のコートのトップでのチェックボールでプレーを開始する。</p>	<p>変更 : 3. 6. 6 ボールを奪ったディフェンス側が、ボールをアーケの外側に運ばずにシュートした場合はヴァイオレーションとなる。ボールを奪ったディフェンス側が、アーケの外側にそのボールを運ばずにシュートした場合は、デッドボールとしてボールの所有権はオフェンス側に戻り、アーケ外側のコート「X」の位置からチェックボールでプレーを開始する。 * チェックボール再開の図を追加。</p>
	<p>追加 : 3. 6. 10 コート上のプレイヤーへのコーチングは禁止する。ベンチにいるすべてのプレイヤー、タイムアウト中、交代要員、ベンチに座っているプレイヤーに対するコーチングは認められる。</p>
<p>4. 2. 3 ジュニアディビジョンの競技では床面2.44m (8ft) に設置してもよい。</p>	<p>追加 : 3. 9. 2 すべての種目において、アスリートとユニファイドパートナーは、同程度の年齢と同程度の競技能力でなくてはならない。同程度の年齢と能力に関する詳細については、スポーツルール第1章総則14. 1. 2を参照のこと。</p> <p>変更 : 4. 2. 3 ジュニアディビジョンの競技では床面2.60m (8.5ft) に設置してもよい。</p>